

# 七条駅・東福寺駅

- ① 三十三間堂 ② 養源院 ③ 京都国立博物館 ④ 豊国神社 ⑤ 方広寺 ⑥ 智積院  
⑦ 河井寛次郎記念館 ⑧ 東福寺 ⑨ 泉涌寺 ⑩ 今熊野観音寺



コース 散策モデル

七条駅 → 七条駅 (所要時間 約2時間30分)

七条駅 → 三十三間堂 → 養源院 → 智積院 → 河井寛次郎記念館 → 方広寺 → 豊国神社 → 京都国立博物館 → 七条駅

約5分 約2分 約5分 約10分 約10分 約1分 約5分 約5分

七条駅・東福寺駅  
周辺

鴨川から東へ、歴史に彩られた名跡紀行。

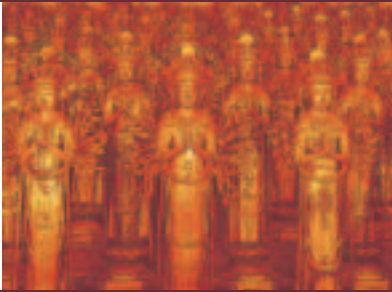
① 三十三間堂

さんじゅうさんげんどう

七条駅から 徒歩約5分

正式には「蓮華王院」といい、本堂の正面の柱間が33あるところから「三十三間堂」と呼ばれるようになりました。堂内の1,001体の千手観音立像は圧巻で、その中には会いたい人の面影を宿す像が、必ずひとつはいるといわれています。

Tel.075-525-0033



② 養源院

ようげんいん

七条駅から 徒歩約10分

徳川の歴代将軍の位牌が祀られている養源院は、秀吉の側室であった淀殿の父、浅井長政の法名。本堂の襖と杉戸絵は俵屋宗達作品で、また天井は徳川の家臣・鳥居元忠らが自刃した、伏見城の板間が使われたことから「血天井」の名で知られています。

Tel.075-561-3887



③ 京都国立博物館

きょうとこくりつはくぶつかん

七条駅から 徒歩約5分

明治30(1897)年に開館したレンガ造りのモダンな本館は、重要文化財に指定されています。仏教美術関係の所蔵品が多く、その数は約1万点以上。前庭に置かれたロダンの「考える人」も見逃せません。

Tel.075-525-2473



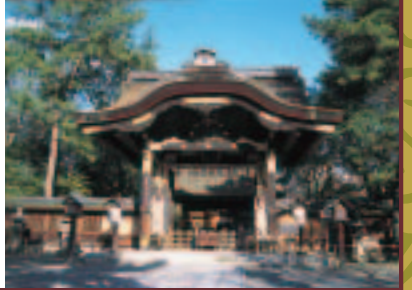
④ 豊国神社

とよくにじんじや

七条駅から 徒歩約10分

豊臣秀吉を祀る神社で、「ほうこくさん」の名で親しまれています。豊臣家の滅亡後、徳川幕府の命で廃祀されましたが、明治13(1880)年に再興されました。唐門(国宝)は伏見城の遺構で、二条城から南禅寺を経て、こちらに移築されました。

Tel.075-561-3802



⑤ 方広寺

ほうこうじ

七条駅から 徒歩約10分

秀吉が創建した方広寺には、奈良の東大寺を上回る高さ約18メートルの盧舎那仏が安置されていました。現在は火災で焼失しましたが、豊臣家滅亡の引き金となった「国家安康 君臣豊楽」の銘のある大きな梵鐘は今も残っており、国の重要文化財に指定されています。



⑥ 智積院

ちしゃくいん

七条駅から 徒歩約10分

秀吉が建立した長男 鶴松の菩薩寺・祥雲寺跡に徳川幕府の庇護を受けて創建された真言宗智山派の総本山。長谷川等伯一派による、楓や桜などが描かれた金箔地の襖絵は華麗な桃山文化を今に伝えています。庭園は江戸初期を代表する池泉廻遊式で、中国の廬山を形どったといわれ、名勝庭園に指定されています。

Tel.075-541-5361



⑦ 河井寛次郎記念館

七条駅から 徒歩約15分・清水五条駅から徒歩約10分

「土と炎の詩人」と称された陶芸家、河井寛次郎の自宅兼工房を公開。家具なども自分でデザインしたものが多く、住居・仕事場・登り窯なども見物できます。また陶器・木彫・書などの作品も展示されています。

Tel.075-561-3585



⑧ 東福寺

とうふくじ

東福寺駅から 徒歩約10分

境内の溪谷には通天橋・臥雲橋・偃月橋の3つの橋が架かっており、なかでも通天橋は紅葉の名所として知られていて、京の秋を代表する景観です。他にも室町最古の巨大な三門をはじめ、浴室・東司・禅堂・鐘楼など、見どころは数えきれません。

Tel.075-561-0087



⑨ 泉涌寺

せんにゅうじ

東福寺駅から 徒歩約20分

「御寺」として親しまれていて、弘法大師がこの地に庵を結んだ事に由来しています。法輪寺・仙遊寺と改称されましたが、寺地の一角から清水が湧き出た事により今の寺号に改められました。春は新緑、秋は紅葉と、月輪山山麓の美しく深い山並みに抱かれています。

Tel.075-561-1551



⑩ 今熊野観音寺

いまくまのかんのんじ

東福寺駅から 徒歩約20分

泉涌寺の塔頭で、正しくは「新那智山観音寺」。また西国三十三ヵ所めぐりの第15番札所、ぼけ封じのお寺としても有名です。空海作と伝えられる十一面観音像が本堂に安置されているほか、境内全域に広がる紅葉が秋になると美しい姿を見せてくれます。

Tel.075-561-5511

